



もとみや

議会だより

第41号

平成27年10月発行

曇り空を吹き飛ばせ！

(本宮市小学校鼓笛隊パレード)

平成26年度各会計決算審査 P.2～5
議案審議 (本宮駅東西自由通路等整備基金に3億円) ... P.6～7
一般質問 新人議員含む12名が登壇 P.14～20

●今回の表紙の題字は、糠沢小学校の6年生に書いていただきました！

※H27. 3.31の住民基本台帳人口30,790人

319万円このように使われました

民生費 39億1,875万円

市民一人当たり 12万7,273円

3



子ども・高齢者福祉に

教育費 31億9,516万円
市民一人当たり 10万3,773円
学校教育や文化芸術に

土木費 13億3,639万円
市民一人当たり 4万3,403円
道路や河川・公園整備に

公債費 10億4,348万円
市民一人当たり 3万3,890円
借金返済に

商工費 8億1,198万円
市民一人当たり 2万6,372円
商工業・観光振興に

農林水産業費 6億5,117万円
市民一人当たり 2万1,149円
農林業の振興に

災害復旧費 5億5,163万円
市民一人当たり 1万7,916円
震災・災害復旧のために

消防費 4億9,847万円
市民一人当たり 1万6,189円
消防・防災に

議会費 1億9,622万円
市民一人当たり 6,373円
議員報酬・議会運営に

労働費 1,441万円
市民一人当たり 468円
雇用・勤労者支援に

衛生費 65億7,312万円

市民一人当たり 21万3,482円

1



放射能対策や健康・環境衛生に

総務費 39億2,240万円

市民一人当たり 12万7,392円

2



基金積立や各種計画、職員人件費に

26年度 決算

一般会計

227億1,319万円

市民一人当たり
約74万円!

復興への加速化は図れたか!

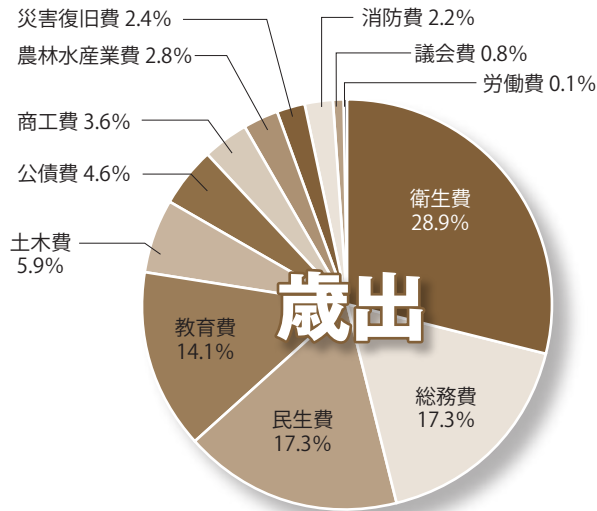


白岩小学校運動会

9月定例会は前年度の決算を
審査する重要な議会です

平成26年度 各会計決算額		
会 計 名	歳 入	歳 出
一 般 会 計	238億2,720万円	227億1,319万円
国民健康保険 特別会計	(事業勘定)	33億2,647万円
	(直営診療施設勘定)	1億 212万円
後期高齢者医療特別会計	2億7,029万円	2億6,684万円
介護保険特別会計	(保険事業勘定)	21億5,956万円
	(介護サービス事業勘定)	1,431万円
公共下水道事業特別会計	8億4,832万円	7億9,119万円
農業集落排水事業特別会計	5,760万円	4,940万円
工業用地造成事業特別会計	7億4,787万円	7億4,690万円
工業用地資産運用事業特別会計	1億1,462万円	1億1,462万円
阿武隈川左岸築堤用地取得事業特別会計	6,434万円	6,434万円
水道事業会計	10億7,108万円	9億2,956万円
総 計	326億378万円	309億6,595万円



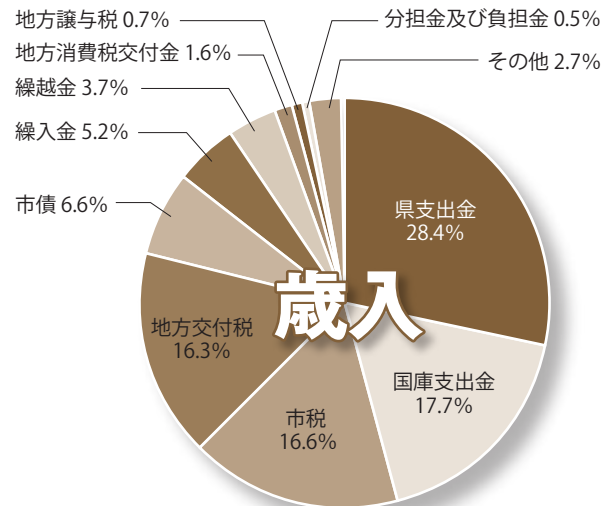


一般会計歳出内訳

衛生費	65億7,312万円
総務費	39億2,240万円
民生費	39億1,875万円
教育費	31億9,516万円
土木費	13億3,639万円
公債費	10億4,348万円
商工費	8億1,198万円
農林水産業費	6億5,117万円
災害復旧費	5億5,163万円
消防費	4億9,847万円
議会費	1億9,622万円
労働費	1,441万円

一般会計歳入内訳

県支出金	67億5,979万円
国庫支出金	42億3,099万円
市税	39億4,006万円
地方交付税	38億7,635万円
市債	15億8,000万円
繰入金	12億3,169万円
繰越金	8億9,225万円
地方消費税交付金	3億7,008万円
地方譲与税	1億7,450万円
分担金及び負担金	1億1,727万円
その他（使用料等）	6億5,422万円



決算審査意見

合理的に事務を進める努力と工夫を

監査委員による決算審査の意見では、放射能除染関連事業及び社会保障・税番号制度システム関連事業など翌年度に繰り越さざるを得ない予算が出ており、今後、事務量がさらに増加し、複雑化することは必至であるため、職員のマンパワーを上げる努力と事務を合理的に進める工夫が必要であるとなりました。

また、効率性や透明性を高めるために、次の事項について検討・改善を求めました。

- ① 経常収支比率が年々上昇しており、財政構造の硬直化に留意すること。
- ② 予備費の充当は、予測することができない予算以外の支出、または予算超過支出に充てるため以外にあつては、補正予算で対応すべきであり慎重を期すること。
- ③ 放射能汚染に関する風評被害払拭に係る事業については、その後の事業に生かされるよう努めること。
- ④ 現在の行政区のあり方を再検討すること。
- ⑤ 公共施設用地の長期借用については、物価変動等に伴い賃借料の見直しや、公有財産化に向けた努力をすること。財産の貸付においても同様に貸付料の見直し等を考慮すること。
- ⑥ 市税や使用料等の収納率向上に努めること。
- ⑦ 職員の健康管理に留意すること。

企業の誘致活動は

商工費

問 企業立地推進事業において、工業団地等への誘致活動を進めるといっても土地が完売しており進められないと思うが昨年の活動内容は。また、地元市民の優先的雇用などの提案はしているのか。

答 活動内容として、本宮地区、白沢地区それぞれに立地している企業の協議会での意見交換や企業への訪問などを行っている。その中で今後も積極的に市民の雇用につながるよう話をしていきたい。

コンビニ収納導入の成果は

総務費

問 コンビニ収納では手数料がかかっているが、収納率の向上に寄与しているのか。

答 平成24年度からコンビニ収納は開始され、若い人の利用が多くなっている。コンビニ収納導入と収納率の因果関係は出てこないが、24時間いつでも納付でき、納期内納付に大きく成果が出ている。そのため督促状など滞納処分費用も軽減でき、手数料はかかるが相対的に見て効果があると思う。

自校給食はいつまで続けるのか

教育費

問 白沢地区の4校が自校給食となっているが、費用対効果や少子化を考えた上で、自校給食をいつまで続ける考えなのか。

答 現在の児童・生徒数では、学校給食センターで白沢地区まで全員分は対応できず、米飯のみ学校給食センターで作って運んでいる状況である。少子化ということもあるので、今後を見据えながら考えなければならない事項の一つとは考えている。

道路の全体的な整備計画は

土木費

問 狭い道路や危険箇所を市で整備してきた経過があるが、つなげてやらなければならない箇所がそのままになっているところが沢山ある。この反省を踏まえて来年度予算に反映する考えは。

答 できれば危険箇所のみでなく、全体として整備したいとは考えているが、どうしても危険箇所が優先になってしまうので十分に踏まえながら来年度以降の工事を進めていきたい。

五百川駅の看板設置はどうなった

問 本宮市PRのため五百川駅に看板を設置する事業は、費用対効果も大きく議会で可決されたが、いまだに看板は設置されない。経緯と今後の計画は。

答 可決後、資材高騰により見積もりが1,200万円と当初の約2倍となり様子を見ている状況である。五百川駅が本宮市であると知ってもらい、本宮の良さをPRしたい気持ちは変わらないので、今後、看板を継続するのか、新しい案があるのか職員と知恵を出し合い議会の意見もいただき考えていきたい。

ふるさと納税制度への取り組みは

問 ふるさと納税制度が始まって7年経過したが、やるぞという空気を感じない。今後の取り組みは。

答 制度を利用して地場産品の販売と紹介をしていくことは有効だと思っており、本市でも本年度から5,000円程度の地場産品を返礼品として送っている。しかし、過度な返礼は決して好むものではなく、検討を重ねながら良い方法にしていきたい。

今後の市政運営をどう考えるか

問 平成26年度の決算を終えて、経常収支比率は1.6%増加の89.4%であり、財政構造の弾力性が失われつつある。今後の市政運営をどう考えるか。

答 経常収支比率は80%が理想だが全国でもそういった自治体が少ない中で、基金の担保や事業の廃止と立ち上げのバランスを大切にしながら、経常収支比率をどのように下げたいけるか、財政健全化計画と並行しながら考えて、努力していきたい。

災害に対する対応は

問 先日、関東と宮城で豪雨災害が起こった。本市でも河川、山林を抱えている。いつ起こるかわからない災害への対応について財政面も含め考えを伺う。

答 平成25年8月の豪雨災害は、国・県の補助対象にならず、単費での復旧が非常に多かった。いつ災害が起きるかわからない状況の中で基本になるのは財政調整基金であり、10億円を前後に担保しておくことが素早い復旧に対応できる策と考えている。

決算審査質疑ピックアップ

市長への総括質疑

各会計決算認定など 34議案を可決

定

9

例

月

会

9月定例会（第7回本宮市議会定例会）は、市長から諮問2件、条例の制定や各会計補正予算など29議案、報告3件が提出されました。

最終日には市長から議案1件、議員から発議4件が提出され、討論・採決を行った結果、すべての議案を原案どおり可決しました。

今議会には、平成26年度の各会計の決算認定が上程され、決算審査特別委員会を設置し、3日間にわたって集中審議を行い、すべての会計決算を全会一致で認定しました。詳細は2ページから5ページに掲載されています。

表彰

市の振興発展に貢献し、その顕著な功績が認められた方を功労者として表彰することに同意しました。

自治功労表彰

佐藤 政隆氏（荒井字三本松）
福島県議会議員（7年8月）

矢島 義謙氏（糠沢字高松）
白沢村議会議員（17年11月）

本宮市議会議員（7年8月）

遠藤 孝夫氏（青田字青田原）
本宮町議会議員（3年9月）

本宮市議会議員（8年7月）

國分 民雄氏（糠沢字南箕内）
白沢村議会議員（3年2月）

本宮市議会議員（8年7月）

中野 一夫氏（本宮字立石）
本宮町・本宮市職員（41年）

本宮市副市長（8年）

人事

人権擁護委員会法に基づき法務大臣に推薦することに同意しました。

人権擁護委員

再任

伊藤 久子氏（本宮字上町）

新任

橋本 広栄氏（岩根字前田）



一般会計補正予算

5億7,800万円を増額

《一般会計補正予算の主な内訳》

歳 出

本宮駅東西自由通路等整備基金積立金 …… 3億円
 教育施設等整備事業基金積立金 …… 5,000万円
 林業振興対策費 …… 3,420万円

歳 入

前年度繰越金（補正増） …… 3億860万円
 市税（現年課税分） …… 1億9,970万円

白沢総合支所周辺公園整備 3,320万円

本宮駅東西自由通路等整備基金に3億円積み立て

今議会に提出された平成27年度一般会計補正予算は、今議会で設置された本宮駅東西自由通路等整備基金への積立金や、教育施設等整備事業基金積立金、福島森林再生事業関連の委託経費、白沢総合支所周辺の公園を整備するための経費などが計上されました。

また、歳入では一般会計の決算に伴う前年度繰越金や当初見込みを上回った市税などが計上されました。

「米価暴落対策を求める意見書」「TPP交渉に関する意見書」を提出

安達地方農民連から提出された「米価暴落対策の意見書を求める陳情書」は、米価下落は事実であることから、「TPP交渉に関する陳情書」は、政府は閣議決定内容を順守すべきであることから、いずれも採択とし、内閣総理大臣等に対し、意見書を提出しました。

議案質疑

有料化の考えは

問 スマイルキッズパークの利用者の増加に伴い修繕関係も増えてくると思うが、財政健全化の上で、将来的に有料化する考えはあるのか。

答 この施設は原発の被災地ということで整備したもので、有料化を考えるとすれば復興期間が明けた頃に他の施設等も含めて考えることになる。当面は無料としたい。

他の要望に充てる考えは

問 前年度繰越金の総額3億8,000万円から、今回3億円も駅関係の基金に積み立てるとのことだが、他の要望事項等に充てる考えはないのか。

答 駅舎と自由通路は四半世紀を超える大きな要望であり、3億円を積み立てることで財政健全化にもつながる。他の要望事項における予算確保もそれはそれとして今後も全力を傾けたい。

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会には、一般会計補正予算（第6号）のほか1件の議案が付託されました。
主な審議内容は、次のとおりです。



▲第2公園整備予定地（白沢運動場西側）

一般会計補正予算

支所周辺環境整備事業

説明 白沢総合支所周辺環境整備事業に係る第1公園、第2公園の整備費を補正する。

問 工事の竣工はいつ頃を予定しているのか。

答 ステージ部分を含む第1公園については来年3月頃、連絡通路及び第2公園については来年7月頃の竣工を想定している。

固定資産台帳整備・公共施設等総合管理計画策定

説明 総務省から整備・策定要請のある固定資産台帳整備・公共施設等総合管理計画策定業務委託料を補正する。

問 総務省からの要請がある事業とのことだが委託料の財源はどのようなものか。

答 固定資産台帳整備・公共施設等総合管理計画の策定委託料の2分の1相当額が交付税に算入されている。国から要請を受けている事業であり、平成28年度までに整備したい。

個人情報保護条例の一部改正

説明 番号法の公布に伴い、同法の規定に基づき特定個人情報利用・提供の厳格化等に関して、本宮市個人情報保護条例の一部を改正する。

生活福祉常任委員会

生活福祉常任委員会には、一般会計補正予算（第6号）のほか4件の議案が付託されました。
主な審議内容は、次のとおりです。



▲本宮市復興支援事業協同組合との懇談会

一般会計補正予算

社会保障・税番号制度

説明 社会保障・税番号制度に係る通知カード、個人番号カード交付等に要する経費を補正する。

問 歳出の補正増に対して国庫補助金が十分ではないことへの考えは。

答 事務費について、国と自治体との間で開きがあり、十分な予算措置がなされていないため、国に対して要望する必要がある。

問 市民への周知はどうなっているのか。

答 広報紙、回覧、ホームページへの掲載により行っているところである。

手数料徴収条例の一部改正

説明 今回の改正は、社会保障・税番号制度の導入に際し、今年10月から通知カード、来年1月からは個人番号カードが交付される予定であるが、紛失等により再交付手続きをする場合の手数料を定めたものである。再交付に要する手数料は、通知カードが500円、個人番号カードが800円となる。

現地調査

白沢地区仮置き場、本宮地区仮置き場の現地調査を実施し、整備状況について説明を受けた。その後、本宮市復興支援事業協同組合との懇談会では、除染作業の進捗、課題等の意見交換を行った。



▲米価を守るべく陳情を採択

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会には、一般会計補正予算（第6号）のほか議案8件、陳情2件が付託されました。

主な審議内容は、次のとおりです。

一般会計補正予算

本宮駅東西自由通路等整備基金

説明 本宮駅東西自由通路等整備基金条例の制定に伴い、一般会計から基金へ3億円の積み立てを行う。

問 積立額はどのように決定したのか。毎年、積み立てを行うのか。

答 今後5年間の事業計画の中で、一般財源の負担が軽減でき、前年度の決算状況から市が対応できる範囲で決定した。毎年の積み立ては考えていない。

常任委員会として修正案を提出

一般会計補正予算について、委員から本宮駅東西自由通路等整備基金積立金の一部を、道路等の整備・維持管理費や社会福祉等に割り当てるべきであるとの意見があり、採決の結果、本宮駅東西自由通路等整備基金積立金に2億5,000万円、財政調整基金に5,000万円を積み立てることとする委員会修正案を提出することとした。

陳情の審査結果

陳情第2号「米価暴落対策の意見書を求める陳情書」は、米価下落は事実であり採択すべきであるとの見解から全会一致で採択と決定した。

また、陳情第3号「TPP交渉に関する陳情書」についても、交渉内容及び為替条項について公表されていない部分があるので、閣議決定内容を守る必要があり採択すべきとの見解から、全会一致で採択と決定した。

本宮駅周辺整備検討特別委員会を設置



委員長	山本 勤
副委員長	川名 正勝
委員	議長を除く全議員

提案理由

9月17日の定例会最終日に、本宮駅周辺整備検討特別委員会設置の議員発議が提出され、全会一致で可決されました。

本宮駅周辺整備については、平成26年3月から平成27年6月まで特別委員会にて調査を実施してきたが、議員改選に当たり、定例会で要望書を市長に提出し、一日調査を終了することとした。

しかしながら、定住促進につながる住みよいまちづくりを進めていくためには、本宮駅東西自由通路、西口広場を含めた本宮駅周辺環境整備事業による本宮駅周辺の利便性・快適性の向上やにぎわい創出は、最重要課題の一つであり、引き続き、本事業の進捗状況を注視しながら、事業計画及び財源についての十分な調査・研究を行うため、本特別委員会の設置が必要である。

本会議での討論

9月17日の本会議で、議案第76号、第80号、第90号の3つの議案について討論がありました。

議案第90号では、反対討論の他に組み替え動議と産業建設常任委員会からの修正案がそれぞれ提出され、討論・採決の結果、賛成多数で原案が可決されました。

主な内容は次のとおりです。

議案第76号
本宮市手数料徴収条例の一部を改正する条例制定について

この議案は、社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）の導入に伴い交付される通知カードや個人番号カードを紛失等のため再交付する場合に、手数料を徴収するための改正を行うものです。

反対討論

渡辺忠夫議員

マイナンバー制度は税と社会保障の個人情報を一括管理し、徴税強化・給付抑制を狙うとともに権力による国民監視やプライバシーの漏えいなどが危惧されるもので導入する必要は全くない。今回の条例改正はそのシステム構築に関するもので反対する。

賛成討論

橋本善壽議員

マイナンバー制度は、所得や他の行政サービスの受給状況を把握し、不正受給の防止やきめ細やかな社会保障制度の実現を図り、また申請の手続き等が簡素化されるなど、市民の利便性向上を図る制度である。個人情報の保護においては制度面とシステム面の両方から措置が講じられ、第三者委員会による監視監督や、重い罰則も設けられるなど、安全・安心に対する万全の体制がとられるものと判断し、賛成する。

議案第80号
平成26年度本宮市一般会計歳入歳出決算認定について

平成26年度一般会計の決算について議会の認定を求めるものです。

反対討論

渡辺忠夫議員

認定できない理由の一つに、仮置き場の固定資産税の免除について、条例が無いにも関わらず免除したこと。一つに国民監視やプライバシー漏えいなどが危惧され、導入する必要が全くないマイナンバー制度のシステム構築について予算化されていること。三つには決算審査の過程で公園維持管理事業の中の委託業務について細かく聞いたところ、答えることができない。よって平成26年度決算は認定できない。

賛成討論

根本七太議員

この議案については、特別委員会を設置し、三日間審査し、最終日に賛成多数で可決されたものである。委員会での採決は重く、本会議においても賛成する。

議案第90号
平成27年度本宮市一般会計補正予算

今回の争点は、一般会計補正予算の本宮駅東西自由通路等整備基金への3億円の積み立てについてです。この3億円のうち、5,000万円を財政調整基金に積み立てることとする産業建設常任委員会からの修正案と、1億5,000万円を他の必要な事業に充てることとする組み替え動議が提出されました。

組み替え動議提案理由

渡辺秀雄議員

本宮駅周辺東西アクセス整備事業は、また整備基本計画が定まらず、総事業費も補助金の補助率も不明確な中で、一度に多額の積み立てをすることは市民理解が得られない。議会の質疑等の中で「当初予算に間に合わずできなかった」「財源が確保できなかった」という答弁が何度あったことから、今回の積立金の半分は当初予算措置できなかった事業や要望の多い生活道路整備等に充てるべきである。

組み替え動議賛成討論

作田 博議員

老人憩の家や老朽化した市営住宅の改善策、安達橋の先線である万世・下町線の道路改良等々安全対策上からも早急な対応が望まれている。他の要望についても財政悪化を理由に市民は長年我慢を強いられている現実を再認識すべき。

原案賛成討論

川名正勝議員

この計画は、市の西部に住む多くの市民の悲願であり、市全体の発展の原動力になる。新しい駅はノーマライゼーションの駅にし、愛されるデザインと1世紀半の時間に耐えうる堅固さが必要となる。本宮駅周辺整備検討特別委員会では、財政健全化を踏まえ、慎重に建設を進めるべきとしている。今回の基金を積むことで立派な駅舎が完成すると考えられ、今後も基金は積み重ねなければならない。いつでも今回のような高額な計上はできないので積める時には極力積んでいくべきである。

原案反対討論

渡辺忠夫議員

今回の本宮駅東西自由通路等整備基金への積立金3億円は、前年度繰越金のおおかたを積み立てるものである。住民生活の中で道路をはじめ、生活に関する改善・改良の要望がたくさんある。今年度も半年残されている今、要望のあるところを発注して今年度に間に合わせることができる。そのような予算の組み替えを強く求める。

9月定例会賛否一覧

これら以外の議案等は12ページのとおり全会一致で可決されています。

会 派 名		みらい創和会					新 風 会					共	無 所 属									
議員名 議案番号	川名	渡辺	円谷	三瓶	渡辺由紀雄	國分	川名	山本	三瓶	菅野	渡辺	斎藤	石橋今朝夫	橋本	後藤	根本	伊藤	作田	国分	渡辺		
	正勝	善元	長作	幹夫		義之	順子	勤	裕司	健治	忠夫	雅彦	朝夫	善壽	省一	七太	隆一	博	勝広	秀雄		
議案第76号	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第80号	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第90号	○	◎	○	○	－	○	○	○	○	○	●	○	○	○	◎	○	◎	●	●	●		

※○は原案賛成 ●は原案反対 ◎は組み替え動議に賛成 ○は修正案に賛成 (◎と○は議案第90号のみ)

※議長(渡辺由紀雄)は採決には加わらない

※会派名の略称は以下のとおり 共…日本共産党

議決結果一覧表

議案番号	議 案 名	議決結果
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同 意
諮問第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同 意
議案第69号	自治功労表彰について	同 意
議案第70号	自治功労表彰について	同 意
議案第71号	自治功労表彰について	同 意
議案第72号	自治功労表彰について	同 意
議案第73号	自治功労表彰について	同 意
議案第74号	本宮市本宮駅東西自由通路等整備基金条例制定について	原案可決確定
議案第75号	本宮市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第76号	本宮市手数料徴収条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第77号	本宮市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第78号	市道路線の廃止について	原案可決確定
議案第79号	市道路線の認定について	原案可決確定
議案第80号	平成26年度本宮市一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第81号	平成26年度本宮市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第82号	平成26年度本宮市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第83号	平成26年度本宮市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第84号	平成26年度本宮市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第85号	平成26年度本宮市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第86号	平成26年度本宮市工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第87号	平成26年度本宮市工業用地資産運用事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第88号	平成26年度本宮市阿武隈川左岸築堤用地取得事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第89号	平成26年度本宮市水道事業会計決算認定について	認 定
議案第90号	平成27年度本宮市一般会計補正予算（第6号）	原案可決確定
議案第91号	平成27年度本宮市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決確定
議案第92号	平成27年度本宮市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決確定
議案第93号	平成27年度本宮市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決確定
議案第94号	平成27年度本宮市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決確定
議案第95号	平成27年度本宮市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決確定
議案第96号	平成27年度本宮市工業用地造成事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決確定
議案第97号	平成27年度本宮市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決確定
議案第98号	本宮市屋内運動施設建設（建築主体）工事請負契約について	原案可決確定
報告第10号	平成26年度本宮市継続費精算報告書について	
報告第11号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく平成26年度健全化判断比率及び資金不足比率について	
報告第12号	専決処分の報告について （専決第9号 和解及び損害賠償額の決定について）	
発議第6号	本宮市議会会議規則の一部を改正する規則制定について	原案可決確定
発議第7号	米価暴落対策を求める意見書	原案可決確定
発議第8号	TPP 交渉に関する意見書	原案可決確定
発議第9号	本宮駅周辺整備検討特別委員会の設置について	原案可決確定
	閉会中継続調査申出書（各常任委員会）	決 定

陳情一覧表

受理番号	受理年月日	件 名	提出者の氏名	付託委員会	審議結果
陳情第2号	平成27年8月20日	米価暴落対策の意見書を求める陳情書	安達地方農民連 会長 佐藤 佐市	産業建設	採 択
陳情第3号	平成27年8月20日	TPP 交渉に関する陳情書	安達地方農民連 会長 佐藤 佐市	産業建設	採 択

改選前の政務活動費の使い道をお知らせします

平成27年度4月から7月まで（議員改選前）の政務活動費の使途は次のとおりです。

政務活動費は、議員1人当たり月額1万円の交付を受けることができ、今回は4月から7月までの4カ月分が交付されています。

より詳しい内容をご覧になりたい場合は議会事務局までお問い合わせください。

会派または議員名	みらい創和会	新 風 会	橋本 善壽	後藤 省一	渡辺 秀雄	国分 勝広
収入	240,000円	240,000円	40,000円	40,000円	40,000円	40,000円
広報費（a）	0円	174,000円	0円	0円	0円	40,000円
要請・陳情活動費（b）	55,000円	66,000円	0円	0円	11,000円	0円
資料購入費（c）	0円	0円	0円	5,055円	0円	0円
支出合計 （a～cの合計）	55,000円	240,000円	0円	5,055円	11,000円	40,000円
差引残金 （収入－支出合計）	185,000円	0円	40,000円	34,945円	29,000円	0円

※差引残金は市の一般会計に返還しています。

8月から3月まで

平成27年度の交付状況（議員改選後）

会派または議員名	人数	交付金額
みらい創和会	5人	400,000円
新 風 会	5人	400,000円
斎 藤 雅 彦	1人	80,000円
石 橋 今 朝 夫	1人	80,000円
橋 本 善 壽	1人	80,000円
後 藤 省 一	1人	80,000円
作 田 博	1人	80,000円
国 分 勝 広	1人	80,000円
渡 辺 秀 雄	1人	80,000円



会派の構成はこのようになっています！

会派とは、議会内で同じ政策を持つ議員の集団です。本市では、会派結成の要件を議員2人以上としていますが、公党に所属する議員は1人であっても会派として認めています。

議員改選後の会派結成状況は右の表のとおりとなっています。

会派の名称	所 属 議 員
みらい創和会	◎川名 正勝 渡辺 善元 円谷 長作 三瓶 幹夫 渡辺由紀雄
新 風 会	◎國分 義之 川名 順子 山本 勤 三瓶 裕司 菅野 健治
日本共産党	◎渡辺 忠夫

※◎は会派代表者です。

会派に 属さない議員	斎藤 雅彦 石橋今朝夫 橋本 善壽 後藤 省一 根本 七太 伊藤 隆一 作田 博 国分 勝広 渡辺 秀雄
---------------	--

市政を

問

う

12名の議員が登壇



稲作農家存続のための施策を



問

今後の稲作に対する考えは
稲作が続けられる施策を作りたい

橋本善壽
議員

問

本市の米は非常に
おいしいと消費者
から高い評価をいただ
いているが、このまま米価
の暴落が続けば稲作農
家存続の危機にもかかわ
る問題である。このよう
な現状の中、本市として
は今後の稲作の位置付け
をどう考えていくのか。

答

農業は本市の基幹
産業の一つである。
引き続き県とともに福
島の米の良さを発信、風
評の払拭ができるよう努
め、稲作農家の方々に稲
作を続けていけそうだと
思っていただけの施策を
作っていききたい。

問

中間貯蔵施設への搬入計画は
具体的な日程等は示されていない

問

他市町村では汚染
土壌の中間貯蔵施設
へのパイロット輸送を
実施したとの報道がさ
れているが、本市のパ
イロット輸送計画等は国
から示されているの
か。また、その後の本
格輸送計画は。

答

パイロット輸送の事
前打ち合わせは完
了しているが、環境省か
ら具体的な日程等はま
だ示されていない。本
格輸送計画は、今回の
パイロット輸送の検証を
踏まえて国の方で作成
することになっている。

その他の質問

- ・ 県道や河川の復旧工事の進捗状況は
- ・ 後期高齢者の被保険者証返却について



市内にある危険空き家



問

**危険空き家解消の取り組みは
空き家等の状況把握が必要**

渡辺秀雄
議員

問

少子高齢化などを背景に空き家が増加傾向にある。特に危険空き家については、今回特別措置法が施行されたのを機に、早急に方針を定め、防災・衛生・景観等からも解消に努めるべきでは。

答

特定空き家に関する判断基準のガイドラインがまだ示されていないが、特定空き家等に該当すれば、解消に向けた助言・指導し、その後に勧告、最終的な行政執行が可能となる。まずは、市内の空き家等の状況把握をする必要がある。

問

**経常収支を意識した財政運営を
行政評価の中で検証している**

問

経常収支比率が、平成22年度の81・1%から平成26年度で89・4%と年々上昇し、財政構造の弾力性が無くなってきた。経常収支を意識した財政運営をすべきであり、行政改革の取り組みはしっかり機能しているのか。

答

毎年度、予算編成に当たっては行政評価の中で事業の公平性・妥当性等について検証している。中間評価も行っており、行政改革に近いような形で予算の編成、査定を行っている。

その他の質問

- ・地域懇談会の開催状況と主な内容は
- ・地域懇談会実施の成果は



問

**老人憩の家の改築はやらないのか
財源の確保や施設の見直しが必要**

広勝分
議員

問

事業計画に平成27、28年に老人憩の家の改築計画があるが、調査費や設計費等が予算書に入っていない。この事業はやらないのか。タイムスケジュールはどうなっているのか。

答

財政健全化計画により平成27年、28年で改築を予定していたが、施設改築経費の補助財源が確保できないことや、施設の規模、機能等にも見直しが必要であり、それを検討した上で財政健全化計画の見直しを行い、事業に着手したい。

問

**平成37年度までの財政計画を
策定を前提に検討する必要がある**

問

本宮市財政健全化計画では平成32年度に財政調整基金が適正額の半分以下となり、以後の財政運営の持続可能性に不安が出る。県からの借入金30億円の返済も入ってくる平成37年度までの財政計画を作成し示すべきでは。

答

平成33年度以降から工業団地の償還財源として借り入れた30億円の償還が始まる。将来にわたる健全な財政運営を図るためには、今後は策定を前提に検討していく必要があると考えている。

その他の質問

- ・中央公民館と第三保育所は築約40年となったが、耐震改修または改築はいつ行うのか



市民は待ち望んでいる（老人憩の家）



市民から愛されるデザインに（市営バス）

問 利用者の減少する市営バスに遠目でもわかる絵をかくなど、利用促進を図るために65歳以上運賃無料としては。また、生きがいデザイナーのバス料金は白沢地区と本宮地区で違い不公平であり、無料化すべきでは。

答 バスの判別しやすい色分けやマグネットシートの工夫は運行事業者と協議したい。市営バスの運賃は地域公共交通会議で利用しやすいよう低料金に設定しており、デザイナーのバス運賃も制度持続のため運賃負担にご理解願いたい。

問 高齢者が地域でボランティア活動に従事することによってポイントが付与されるボランティアポイント制度と一定の運動や健診を受けた場合にポイントが付与されるヘルスケアポイント制度を組み合わせた施策の展開について考えは。

答 ヘルスケアポイントとは国で本格導入の検討の動きがあり、実施される場合は国の制度に倣うしかない。また、予算は目的別に計上することとなっており、高齢福祉と保健を混在させるということではできないと考えている。

その他の質問

- ・赤ちゃんの駅の導入は
- ・ウィリアムズパークの便座の暖房化は



問 市営バスの65歳以上運賃無料化を現状での運行にご理解願いたい

川名順子
議員

問 ポイント制度を組み合わせてはできないと考える

問 近年の桜ブームに呼応して、県・市指定天然記念物、塩ノ崎の大桜を見物に来る方が多くいる。今年はふくしまデザインেশョンキャンペーンに合わせて来た方も多いと聞けが、ここ3年の入り込み数をどう捉えているか。

答 塩ノ崎の大桜の入場者数は市ではつかんでいない。塩ノ崎の大桜保存会からの話によると昨年は約3,000人、今年は約4,500人の方が来場されたとのことで、デザインেশョンキャンペーンの成果はあったと考えている。

問 多くの観光客が訪れる塩ノ崎には駐車場がなく、観光客は路上駐車することとなり、200m程つながってしま非常に危険である。地区では数年前から駐車場を要望し、昨年9月の補正予算で調査費が計上されたが、その後の対応は。

答 塩ノ崎には駐車場が数台分しかなく、9月の補正予算で駐車場整備に向けた測量設計を実施し、年度末に設計が出来上がったところである。その内容を精査し、具体的な対応策が決めれば地元の方に説明する機会が必要と考えている。

その他の質問

- ・ふくしま DC への取り組みの成果は
- ・地域の観光資源をどのように発掘し PR するか



路上駐車のため危険な状態である



問 塩ノ崎の大桜の入り込み数は
答 キャンペーンの成果で増えた

石橋今朝夫
議員

問 駐車場の設置要望への対応は
答 具体策が決まれば説明したい



工事の際の説明責任を果たすべき



問 公共工事に伴う地域への対応は

答 地権者等に対し説明会をしている

根本七太
議員

問 社会の進展により生活基盤も変わり、市民からの要望も多岐にわたってきた。施設や道路の新設、改良工事等の際、地権者はもちろん、隣接地権者等関係者と事前協議することが災害時においてもトラブル防止になると思われるが。

答 そういった事業の際には、地権者を含むある程度広い範囲の方にお集まりいただき説明をしている。出来上がった部分については、それぞれの施設の管理部署においてパトロールをする等被害を最小限にとどめるよう対応していきたい。

問 地方創生への取り組み状況は

答 総合戦略の10月完成に向け進める

問 本市は地方創生について組織を編成して取り組んでいるが、定住人口増加対策を含めた現在の進捗状況は。また、今年度8月までのふるさと納税で納付された金額は。

答 国の地方創生に先駆けて昨年10月からマイホーム取得奨励金等の支援を行っている。4月からは組織を立ち上げ地方版総合戦略の10月完成に向け進めている。ふるさと納税は昨年同時期と比較し1件増で、金額は12万円の減である。

また、今年度8月までのふるさと納税で納付された金額は。

国は地方創生に先駆けて昨年10月からマイホーム取得奨励金等の支援を行っている。4月からは組織を立ち上げ地方版総合戦略の10月完成に向け進めている。ふるさと納税は昨年同時期と比較し1件増で、金額は12万円の減である。

その他の質問

- ・ドリームライン周辺の開発について
- ・ふるさと納税の目標を設定し特産品返礼を



問 個人番号カードの交付体制は

答 本庁と白沢総合支所で交付する

斎藤雅彦
議員

問 10月以降にマイナンバー通知カードが届き、希望者には市が個人番号カードを交付する。希望者の集中が予想されるが、市の体制と想定される人数は。また、制度の利点や安全性の広報活動が必要であり、政府広報を全戸配付しては。

答 交付窓口は本庁と白沢支所の2カ所に設け、それぞれ職員と臨時職員の2名体制で対応する。交付件数は市民の2割に当たる約6,200人と想定している。政府広報の全世帯配付は、国・県と連携し、部数調達ができるか確認したい。

問 排水ポンプ場の電源喪失時対応は

答 自家発電機を配備して対応したい

問 市内8カ所の排水ポンプ場の排水可能な雨量は、過去の被害と比較しどの程度を想定しているのか。また、館町・万世排水ポンプ場を除く6カ所の排水ポンプ場の電源喪失時の対応と災害時対応マニュアルへの整備状況は。

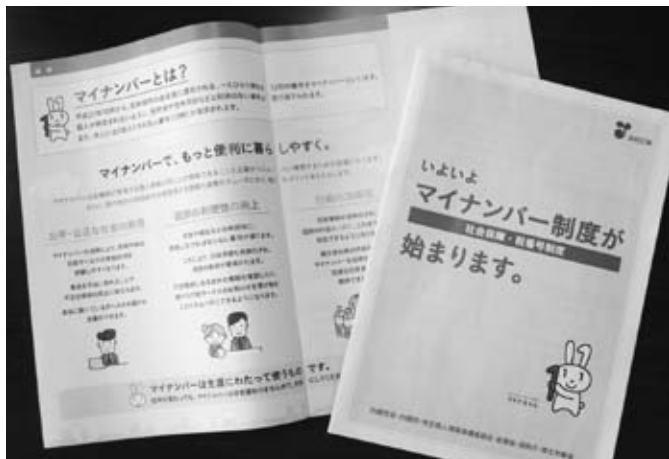
答 館町・万世・太郎丸は10年確立の降雨量、東町裏は過去2回の浸水時排水実績の約2倍、その他は過去の洪水時降雨量に対応している。電源喪失に備え、大雨の際には事前に自家発電機を配備して対応するようマニュアル化している。

その他の質問

- ・JR 五百川駅のトイレ整備の考えは
- ・個人番号カード交付に係る条例改正について



東町裏排水ポンプ場



市民に不安感を持たせないように



問 白沢地区の幼稚園と保育所統合は 今のところ計画はない

菅野健治
議員

問 市内の小・中学校の耐震化が進んでいるが白沢地区の幼稚園・保育所の耐震化計画は。また、白沢保育所と白沢地区の幼稚園を統合して幼保一元化施設とし、将来的には現在の幼稚園を放課後児童クラブ施設などにすべきでは。

答 白沢地区の保育所・幼稚園は耐震化基準を満たしているため、耐震化推進計画への位置付けはしていない。統合には地域の事情や課題等を検証し、慎重な対応が必要であると考えているため、今のところ計画はない。

問 地域懇談会での要望の内容は
答 身近な道路等の要望が多かった
今年度の地域懇談会は14カ所で行われ、236名の出席者だったとのことだが、どのような要望があったのか。また、いただいた要望等への対応は。さらに来年度の開催は。

答 身近な道路や側溝・防犯灯などの不備や不足に関するご意見・ご要望が多かった。事故や災害につながる案件は早急に現場を確認し対応を行い、ご意見をいただいた方に状況を報告している。来年度も同じような形で考えている。

その他の質問

・グリーンパークとスマイルキッズパーク（プリンスウィリアムズパーク）の相互利用について



両施設の有効活用を



問 マイナンバー制度の安全対策は 答 システム面と制度面から講じる

円谷長作
議員

問 マイナンバー制度は、10月5日から個人に12桁の番号が通知され、申請によって顔写真付きの個人カードが交付される。将来的には個人の年金や銀行口座までも接続されることから、安全対策と事業者等への周知をどう考えているのか。

答 システム面では各行政機関による分散管理や暗号化など、制度面では法律に定めのあるものを除いた利用・収集の禁止、収集の際の本人確認の義務化、罰則強化などを行う。事業者へは、二本松税務署や商工会が説明会を開催している。

問 来年度の復興の集いのあり方は
答 スタイルの見直しを考えている
来年度は震災から6年目になることから3・11復興の集いのあり方をどう考えているのか。また、来年度には、本宮市誕生（平成19年1月1日）から10周年となる。記念事業として何か企画しているのか。

答 震災から6年目を迎えるに当たり現行のスタイルの見直しを考えている。大震災を風化させないためにも黙とうを継続することや多くの方が集えるイベントなどを実施したい。合併10周年事業は実施する考えで予算措置をしていきたい。

その他の質問

・高齢者の交通安全や認知症対策について
・青少年の健全育成に向けた取り組みについて



多くの愛好者が待ち望むパークゴルフ場予定地（高木字長瀬地内）



問

損害賠償請求などの協力体制は
市長会等と連携していきたい

渡辺忠夫
議員

問

原発事故から4年半、本市の賠償請求額と実際に賠償された額は。県内原発全基廃炉、徹底した除染、完全賠償、県民の健康管理など「オール福島」の願いを実現するため、他市町村との協力体制もとりながら要求していくべきでは。

答

東京電力に対し請求した額は平成23年度から平成26年度の合計で約6億8,500万円であり、そのうち賠償された額は6,670万円である。本市単体では厳しいものがあり、市長会や県の原子力災害対策協議会と連携していきたい。

問

パークゴルフ場建設の話が出てから時間が経過する中で、市民はすでに愛好会を立ち上げ完成を待っている。いつから使用できるのか。また、建設の段階で使用する方々の意見を聞くことも必要と考えるがその計画は。

答

測量作業は9月末まで、管理棟整備は11月末までに完了予定であり、その後、コース整備を行い、来年7月頃までには完成させたい。市内の関係団体や避難されている方々の代表者とのワークショップを設置し、意見を聞く予定である。

問
パークゴルフ場の使用開始時期は
答
来年7月頃までには完成させたい

その他の質問

- ・保育料無料化の拡充について
- ・幼稚園教諭や保育士を正職員にすべきでは



問

屋根も除染すべきでは
答
基本的には実施していない

三瓶幹夫
議員

問

住宅除染の中で、雨どいは除染されているが、屋根に付着している木の葉が堆積しているところもある。本来であれば屋根も除染しなければ意味がないと考えるが見解は。

答

屋根や壁は、これまで多くの実証実験等により既に線量の低減が図られたことから、本市だけでなく他市町村においても基本的には実施していないが、雨どいを除染しても線量が低下しない場合、その原因等に応じて対応する例もある。

問

道路除染の行政区長等との協議は
答
意見を聞きたいとも考えている

問

道路除染について、生活道路等路線認定調査から調べると、数多い路線がある。除染作業の範囲や基準等を行政区長等との協議の上で作業を進めるのが望ましいと考えるがどうか。

答

道路除染については和田地区を試験的に実施し、8月末で完了したところである。和田地区の結果を踏まえ、施工方法・範囲などについていろいろな方から意見を聞きたいとも考えており、一つの参考とさせていただきます。

その他の質問

- ・防火水槽、ため池、水路除染について
- ・各地区の住宅除染進捗状況について



範囲等を協議の上で進めるべき（道路除染）

請願・陳情とは

市民が、地方公共団体や地方議会などに対し、要望や希望を述べることを請願・陳情といい、憲法第16条の基本的な人権や地方自治法第124条の請願により権利が認められています。

請願と陳情の違いは

議員の紹介のあるものを請願、紹介のないものを陳情といいます。

請願・陳情の取り扱い

議会に提出された請願・陳情は、内容により担当する委員会では審査され、本会議において採択・不採択を決定します。

結果は、請願・陳情提出者に通知します。

採択されたら

採択された請願・陳情は、市の執行機関が処理することが適当なものは市長や教育委員会などへ送付します。

国などに対する要望は、意見書として内閣総理大臣などに送付します。

請願書・陳情書の書き方

請願(陳情)書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

本宮市議会議長 〇〇〇〇

(請願・陳情者)住 所 本宮市〇〇字〇〇〇番地
氏 名 〇 〇 〇 〇 〇

(請願の場合は紹介議員署名)〇 〇 〇 〇 〇

(件名)〇〇〇〇について

《要 旨(請願・陳情をしようとするがら)》

《理 由(請願・陳情をしようとする理由)》

問 定住人口の増加を目指し昨年10月に導入したマイホーム取得奨励金と宅地造成奨励金の実績は。また、宅地造成奨励金制度は好調であり、民間の事業者に宅地造成を促すのであれば、現在の奨励金の上限(15区画)を撤廃してはどうか。

答 昨年10月に導入し、8月末現在でマイホーム取得奨励金が112件、宅地造成奨励金が3件、21区画の実績である。上限撤廃については現在の状況を継続しながら様子を見た後、検討を重ねていく必要があると考えている。

問 自然災害が頻発する中、自らの命と地域は自ら守る意識の下に設立する自主防災組織は全国的に重要視されている。本市の組織数は。また、設立時の20万円の助成金に加え、自主的な訓練や備品の更新等の維持経費も予算化すべきでは。

答 現在、本市には19の自主防災組織がある。運営費補助は組織強化につながる面は確かにあると考えている。設置補助金を活用していただき、市の職員や消防団、消防職員の派遣や市所有の資機材の貸し出しを行い、全面的に支援したい。

問 自主防災組織維持経費も予算化を
答 派遣や貸し出しを行い支援したい



問 宅地造成奨励金の上限撤廃を
答 今の状況を継続し様子を見たい

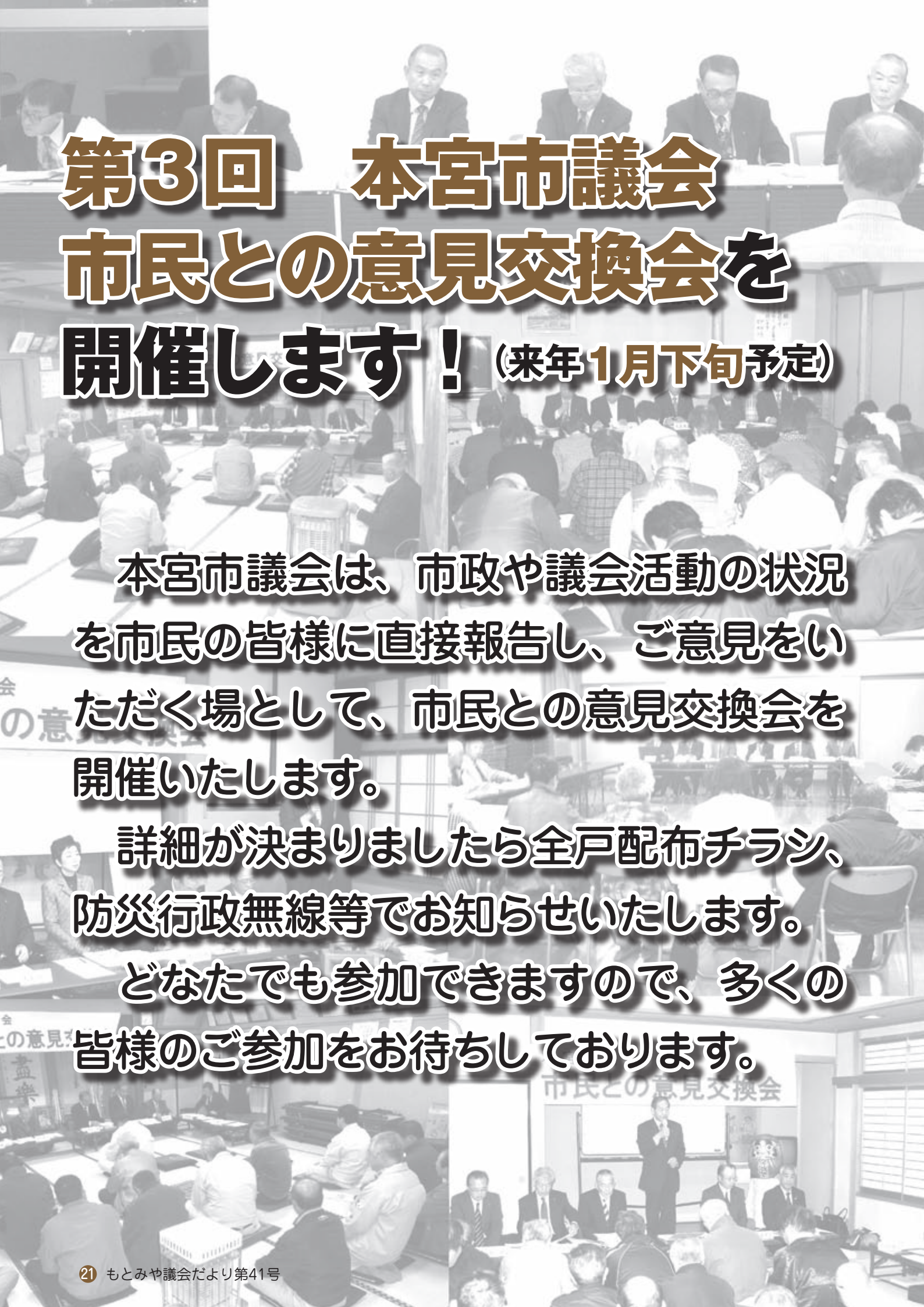
三瓶裕司
議員

その他の質問

- ・本市への企業進出による雇用の現状は
- ・企業誘致の促進について



定住促進のチャンス逃すな



第3回 本宮市議会 市民との意見交換会を 開催します！ (来年1月下旬予定)

本宮市議会は、市政や議会活動の状況を市民の皆様へ直接報告し、ご意見をいただく場として、市民との意見交換会を開催いたします。

詳細が決まりましたら全戸配布チラシ、防災行政無線等でお知らせいたします。

どなたでも参加できますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

声



9月定例会を傍聴された方は82人でした。今回はその中から橋本ハツさん（和田字戸ノ内）に傍聴の感想をお聞きました。

議会傍聴感想

和田11区ふれあいサロンは毎月1回主に集会所で活動していますが、9月は15人で市議会を傍聴しました。

市議会は本会議場でどのように開かれているのか。また、8月に改選されて初めての市議会一般質問に関心がありました。

傍聴は皆、初めてでしたので緊張しながら早めに本会議場に入り開会を待ちました。定刻になると登壇した議員の質問に対して、丁寧に答弁して真剣に議論を交わしていることがわかりました。

ただ、初めから部長、次長の答弁で市長からの答弁が少なかつたように感じました。



橋本ハツ さん

議会広報特別委員会



（奥側）

斎藤 雅彦

国分 勝広

三瓶 幹夫

副委員長
橋本 善壽

山本 勤

委員長
菅野 健治

石橋今朝夫

渡辺 秀雄

任期の2年間、このメンバーで皆様に親しまれる広報紙づくりに取り組んで参ります。今後ともご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

あとがき

任期満了の改選に伴い、新たな議員構成による議会広報特別委員会となりました。今回、委員長を拝命し、若い発想で紙面構成・紙面づくりをし、市民の皆様にはわかりやすく、読みやすい議会だよりとなるよう心がけてまいります。

秋は〇〇の秋と言われておりますが皆さんにとっての秋はどのようなイメージがありますか？読書の秋もあります。議会だよりをもう一度読んでいただき、ご意見やご感想をいただければ幸いです。

秋が終われば冬の到来です。雪が降るのも間近となりました。一年が早く感じるのは私だけでしょうか。
（菅野）

次回12月定例議会は
12月1日に開会予定です。
請願・陳情の締め切りは
11月18日（16時まで）です。

※なお、正式な日程は議会運営委員会
で決定します。
問い合わせ TEL 24-5435（直通）